

# 坂井 えつ子 Vol.30



つながる 小金井通信



緑・市民自治こがねい会派ニュース

閉会中の議会報告号



1月8日 成人の日 記念行事

1286名の方が成人を迎えたとのことでした（記念行事参加者は700人）。小金井市の人口は12万人ですので、およそ100人に1人が新成人。ご本人や周りの皆さま、おめでとうございます。

主催者挨拶で、西岡市長が新成人の皆さんに3つの大切なことを伝えていました。3点目、「自分の頭で考える」は特に大切。

1月18、19日：研修。  
自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に



全国市町村国際文化研究所の研修に参加しました。用語の説明から、5～6人のグループにわかれて意見交換しながらの演習まで。理解が深まりました。

財政の勉強は、積み重ねて勉強していくことが必要なので、引き続き力をいれます。

## 声の議会だよりは市HPからもお聴きいただけます

市議会だよりの音訳版「声の議会だより」が昨年未発行の258号から、小金井市HPにアップされています。



小金井市HP → 市議会 → 議会に関する広報 → 議会だより → 市議会だより（音声版）

## お知らせ

手話通訳あり

2月25日は

# 日曜議会。

日時：2月25日(日) 午前10時から

場所：市役所本庁舎4階 議場

平日の議会は、傍聴に来られない方が多いと思います。議会の様子を知っていただくために日曜議会を開催しています。

各議員が施政方針に対して質問しますので、ぜひお越しください。

ひとことニュース：市長、副市長・教育長につづき、1月30日に部長職もイクボス宣言。

## <坂井えつ子 プロフィール>

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中、小金井北高、日本大学法学部卒業 ●日本福祉教育専門学校入学 ●2015年市議補選で初当選 ●2017年再選。建設環境委員会、行財政改革推進調査特別委員会(副委員長)、広報協議会委員 ●三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員会 ●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

お問合せ・ご相談 お気軽に

坂井えつ子 連絡先

中町4-17-11-1F  
TEL：090-1796-7652  
Mail：info@sakaietsuko.com



坂井えつ子

検索

## ここが 変わった “障がい者差別解消条例（案）” 教育の記述がレベルダウン。 パブリックコメントは2月19日まで。

内容が薄くなったほか、市の責務は義務規定なのですが、教育においては、なぜか努力規定。

### （市の責務）第4条

市は、（中略）～差別の解消の推進に関して必要な施策を策定し、及び実施しなければならない。

### （教育）第10条

市は、障害の有無にかかわらず、全ての児童及び生徒が共に生き、～（中略）合理的配慮の基本となる環境整備に努めるものとする。  
2 市は児童、生徒が障害及び障害者に関する正しい知識をもつための教育がおこなわれるよう、関係職員に対する特別支援教育等の研修の充実を図るものとする。



- ▶ 市民条例案にあった「インクルーシブ教育」「共生社会」の文言は庁内検討でなくなる。
- ▶ 西岡市長は、市民参加で作られたことが「小金井らしい条例である」としていますが、市民条例案は、庁内検討で簡素に。小金井らしさは残っているのか？率直に残念。
- ▶ 通常1カ月かけるパブコメも28日間と若干短め。パブコメのとりまとめも通常1カ月ほど要するところ、およそ3日で行う、と。議会上程のスケジュールも無理があります。

パブリックコメントは2月19日（月）まで。ぜひ、意見を届けましょう！

### 条例市民説明会にもご参加を！

- ▶ 2月7日（水） 午前10時～正午@商工会館2階 会議室
- ▶ 2月12日（月・休） 午後2時～午後4時@商工会館3階萌もえ木ホール

## 消化不良が否めないまま、（仮称）小金井市新福社会館建設基本計画市民検討委員会が終了。

当初5回予定を回数増し、8回開催。それでも、委員からは、限られた時間で大変困難を伴う議論だったとの発言がありました。（委員の皆さん、お疲れさまでした）。

議論し切れなかった箇所は、全5ページにわたる添付資料としてまとめられています。



- ▶ 議論が尽くされぬままの計画（案）提出となりました。スケジュールがキツかった。

## ここが 気になる

新庁舎建設基本計画は2013年に策定済み。新福社会館と新庁舎は蛇の目ミシン工業工場跡地に2021年度末に竣工予定。同一敷地内に建つ2つの施設、導入機能をどう整理していくのか、まだ明らかになっていません。

1月23日 岩手県北上市

◆「きたかみPing!Pong!Pang!運動」  
「政策評価・事務事業評価について」



業務改善改革実践運動  
「Ping!Pong!Pang!」。親しみやすくなるため、愛称やシンボルマークを活用。市民に開かれた発表会を行うことで、職員間の風通しも良くなったとか。

Ping!Pong!Pang!とは  
■ Ping!  
仕事の改善点に「ピン」と気がつく人材づくり  
■ Pong!  
アイデアを「ポン」と出せる気軽に話せる環境づくり  
■ Pang!  
思わず「パン」と手を叩く改善内容

各職員が、主体性を持って、取り組むことを目的としており、実際9割以上の職員が実践を意識しているとのこと。

小金井市では…

2012年の市職員アンケート調査では、行財政改革を理解している職員は47、1%。自分自身で取り組んだ実績のある職員は20、7%。

 より多くの職員が関心をもち、主体的に取組める工夫、意識改革が必要です。

1月24日 福島県郡山市

◆業務カイゼンへの取組「郡山市STANDARD」



庶務事務に携わる職員の声を聞き、今まで言えなかったことをカタチにしていた。たとえば、

セミナー等関係業務  
～目指すべき姿

- ・セミナー等の“回数”の減少  
(適正な回数とする)
- ・セミナー等の安易な“動員”の減少

目指すべき姿になるための約束(手法)

- ▶「検証をしていない」「成果が生じていない」  
セミナー等は実施しないようにしましょう
- ▶対象者を明確にし、安易な動員をやめましょう
- ▶市民や他自治体職員の参加を検討しましょう

これにより、35,299時間の業務量削減、1億5,782万円の人件費削減を見込んでいるとのこと。

小金井市では…

昨年4月に行財政改革市民会議の答申を受け、行財政改革プラン2020を策定。昨年9月には、行動計画を具体化するアクションプラン2020を策定しました。1年ごとの見直しを目標としています。

 郡山市の取組は、一見当たり前に思えることなのですが、改めて共通認識を持つことが大切。他にも具体的な取り組みを紹介していただけだったので、理解しやすかったです。

“はげ”と野川をこわす都施行の都市計画道路 第2回目の意見交換会も、事実上成立せず終了。

昨年第1回目の意見交換会では…



11月17日 都主催“意見交換会”  
目的を巡り平行線のまま終了。

 事業化にあたって環境や景観への配慮について意見を聞くため開催  
東京都  
事業の見直しを含めた意見交換を 参加者

参加者は、2回目開催時には、計画決定した都市整備局の出席するよう求めました。

しかし、2回目の意見交換会冒頭、東京都は、「都として必要な路線である。個別路線の意見交換会は、担当が建設局。整備局は今後も出席しない。」と説明し、紛糾。

予定時刻を1時間ほどオーバーし、都は「意見交換会開催できたが、整備にあたっての意見交換には至らなかった」と締めました。

小金井市は…

「丁寧な対応を、市民の意見が届いて都が配慮することを望んでいる。地元との理解深めていただきたい」と、また「事業化にあたっての意見交換会」とは認識していなかった。と市議会で答弁しています。

 市議会は、昨年2度、議長を除く23人全員賛成で計画の見直しを求める意見書を都知事に送付しています。意見交換会参加者の要望や市議会の意思が反映されません。小金井市の傍観者のような発言は、残念すぎます。より明確に意思を示していただきたいところ。

